国民皆保険の維持に黄信号

医療費2040年に

半分は後期高齢者が占める

は変えられま



付 担 ス拡 の

初の2000件突破 月間医療費1000万円超

医療費の増加が続く中、

医療と国民皆保険制度の未来は黄信号



危

機能力汚

医

47兆円 現在の国民医療費は 加速で国民医療費は 63

割しか残らない 現役世代の 保険料

高齢者人口の増加は医療費の増加に大きく影響します。 65歳以上の高齢者人口は、2023年が約3,623万人。

高齢者人口がピークとなる2043年には約4,000万人に達すると推計されています。

年間保険料は15年で

1.35倍に!

520,677 H

(年度)

高齢者人口は15年で 2,822万人→3,623万人に増加。 医療費も約 13.2兆円増加



2008 2023

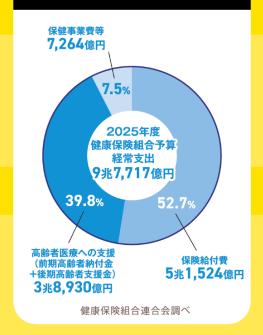
1.35倍

386,038

健康保険組合連合会調べ

(決算見込)

現役世代の保険料のうち 約4割が高齢者医療に



医療と健康保険の未来を変えるのは 一人ひとりの"みどりアクション"



自分の健康保険料 給与 知ることから始めよう。 細 を

と)んなに忙しくても

ケーションの力。

「毎月払ってるのに、 よく知らない」を、 今日で終わらせよう。

給与明細



今年も、 自分のカラダと 向き合う日を。

健診



軽い不調は、 まず自分でケアする という選択。

セルフ メディケーション



健康保険組合の 加入者の皆さまへのお願いです。

健康保険組合連合会は、これまで、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、医療保険制度改革に関する各種の政策提言を行ってきました。この間、ある程度の制度見直しは図られたものの、依然として現役世代に過重な負担を求める構造に変わりはなく、2025年以降も危機的な状況が続くものと見込まれます。さらに2040年にかけては、高齢者人口がピークに向かい、少子化により現役世代が減少していくなかで、医療費と現役世代の負担が急激に増大していくと見込まれています。これに備え、全世代で支え合う制度へ転換するための改革を急がなければなりません。そうしなければ、国民の安心の礎である国民皆保険制度を将来世代に引き継ぐことができなくなってしまいます。

このような状況を踏まえ、国民皆保険制度を守っていくために、私たち健康保険組合から加入者(国民)の皆さまにお願いしたいことがあります。

3つのお願い

- ① 医療費のしくみや国民皆保険制度の 厳しい状況についてもっと知ってください。
- 2 自分自身で健康を守る意識をもってください。 健診をきちんと受けてください。
- **3** 軽度な身体の不調は自分で手当てする セルフメディケーションを心がけてください。

<u>私たちの活動には加入者(国民)の皆さまのご理解とご支援が重要となります。</u> ぜひとも皆さまのご意見をお聞かせください。

ご意見はこちらから

中 健康保険組合連合会